

放課後等デイサービス ジュニアクラブ蔵本

基本情報

作成年月日	令和7年1月
法人理念	和顔愛語
支援方針	<ul style="list-style-type: none">●利用者の方の特性を職員のみならず、利用者の方自身も把握し、事業所を卒業した後も本人の強みを活かせるように支援を行う●利用者の方の意思を尊重した支援を行う●成人後の生活を想定したコミュニケーションスキルや生活スキルの獲得を目指し、計画に沿って支援する●保護者や関係機関と協力し、保護者と関係者が共通認識のもと利用者の方の生活を支援できるようにする
営業時間	10:15～19:15(平日) 8:30～17:30(休日)
送迎の有無	無

活動プログラム ～健康・生活～

18歳以降の生活面での自立を目指し、日常生活でできることをアセスメントし、お子さまの特性を踏まえて経験できるように活動を行います。

- (例) ・身だしなみ ・体調管理 ・調理(食事) ・買い物 ・掃除 ・金銭管理
 ・スケジュール(時間)管理 ・物品管理 ・計画を立てて遂行する能力 ・余暇を楽しむ能力 など



就労について

ハードスキル
 仕事そのものの作業能力のこと
 例：聞いた内容を覚える・パソコンを操作する
 手早く作業を行う・集中して作業を行う など

ソフトスキル
 仕事以外の能力のこと
 例：日常生活能力・対人関係能力・余暇活動
 自己理解・自己肯定感 など

ハードスキルは合理的配慮などでサポートを得られやすいが
 ソフトスキルは今までの育ちの中で獲得してくる能力なので
 就労してからカバーをすることは難しいと言われています！
 (ソフトスキルが離職の要因になっていることも多い)

放課後等デイサービス
ジュニアクラブ蔵本

活動プログラム ～運動・感覚～

感覚面のアセスメントや対処方法についてメンバーと話し合ったり、定期的にスポーツ活動を実施し、健康維持や就労に必要な体力づくりを行います。

考えた対策を発表してみよう（金）

聴覚が苦手なときの対策

気をまぎらわす
一定の話を集中してきく
耳栓を持ってくる
かまえる

嗅覚が苦手なときの対策

鼻に詰め物をつめる
無香料の洗剤に変える

視覚が苦手なときの対策

部屋をかたづける
（棚に入れて見えなくする）
席の場所を移動して変えてもらう
サングラス・帽子をして防ぐ
フラッシュはやめてもらう

触覚が苦手なときの対策

事前に「さわらないで」という
クリームを塗って摩擦をふせぐ



活動プログラム ～認知・行動～

お子さんと話す時間をつくり、本人の特性を理解したり、考え(認知)の修正を行います。
また、本人にとってストレスが少なく、社会参加がしやすい方法についての提案をしています。

アドバイス・指摘されることの意味

アドバイスは、その人を否定したり、ダメ人間という意味ではありません。

アドバイスはあなたを成長させる大切な言葉だと言われていま放課後等デイサービス
ジュニアクラブ
蔵本
(アドバイスが聞けないと成長できないと言われていきます。)

社会に出て仕事を始めると、誰でもアドバイスや指摘されることが多くなります。

指摘をする人を「敵だ!」と捉えているようでは社会で生きていくのは難しいと言われていきます。

今のうちにアドバイスや指摘されることに慣れ、自分の成長に繋げていこう!

(指摘がイヤだった人は他のコーチにグチってみよう)



活動プログラム ～言語・コミュニケーション～

自分にかかるストレスを少なく抑えながら、人付き合いを円滑にするコツは何か？
目的を達成するために必要なコミュニケーションとは？などについて、授業や活動を通して学びます。

好きになるまでの気持ちの変化

- ★近くにいくと緊張する
- ★近くにいると嬉しい
- ★いつも頭の中にその人がいる
- ★相手に触りたい



好き

- ★積極的に話したい
- ★相手のことをたくさん知りたい
- ★相手が喜んでくれると自分もうれしいなど



気になる

- ★メールをする
- ★お互い気軽に話かける
- ★困っている場合、助けてあげる
- ★複数で遊びに行く
- ★みんなできると楽しい



友達

- ★顔は見たことある
- ★話すことは少ない
- ★友達の子供…？



知り合い

- ★この人、誰だろう
- ★名前なんだっけ？



無関心

相手に好きになってもらうまでには、いくつかの段階があると言われています。

会話が途切れたときの引き出し

会話がなかったときに、話す話題を決めておこう！
(もし、話せなくなったときには…という会話の引き出しを考えておきましょう)

<会話に困った時に話すこと>

- キライな食べ物なに？
- 昨日、何のテレビ見た？
- その服、どこで買ったの？
- 休みの日、何してるの？
- 何の曲が好き？

など



話すこと、ないのかよ！？

活動プログラム ～人間関係・社会性～

グループワークや遊びの中で活動メンバーと協力することを通して、人間関係の構築のしかたを学びます。また、ボランティア活動等へ参加し、地域におけるさまざまな年齢の方々との交流をはかることによって社会性を育みます。



家族支援

- ・家庭や学校での利用者の方の困り感や、保護者の方の困り感について、保護者の方の要請があった時、相談に応じる。
- ・保護者の方の話を聞き、利用者の方の特性や性質に沿った関わり方について助言を行う。事業所内のみでの解決が難しい場合は、関係機関との連携を行う。
（例）進学、就職について（合理的配慮の申請など）
対人関係
自己管理など
- ・保護者の方に向けて勉強会や交流会を開催。（半年に1回程度）

移行支援・地域支援・地域連携

- ・福祉サービスの利用形態についての変更等、利用者の方の生活が変化するときにも、必要な支援について相談・援助を行う
- ・利用者の方が通学・所属している中学校、高等学校等との連携を実施する（見学にうかがい、情報交換を行う等）
- ・利用者の方、または保護者の方の要請があった場合、進学先の学校や就職先との合理的配慮について話し合いを行う
- ・他事業所をご利用の方は、要請があった時、他事業所とも連携を取り、必要な支援について話し合う場を設ける

職員の質の向上に資する取り組み

- ・同法人内の他事業所との合同での研修(月1回)
- ・事業所内でのケース検討(月1回)
- ・職員それぞれの希望する研修への参加助成



主な行事

- ・個人懇談
- ・保護者会
- ・季節に関する行事(夏祭り・ハロウィン・クリスマス 等)
- ・調理実習
- ・外出活動(お出かけ、ボランティア 等)